

令和7年度	漆芸研修（通年）
目標	琉球漆器の基本技術、応用技術を習得する。
講師	25年以上の琉球漆器技術、事業歴（または同等の技能）を有する熟練技術者
定員数	4名
研修期間	4月中旬～翌年3月中旬（※5日/週：火～土曜日、※日・月・祝日、慰靈の日、12/29～1/3は休み）
研修時間	9時15分～17時15分
場所	おきなわ工芸の杜内 漆芸共同工房（所在地：沖縄県豊見城市豊見城1114番1）

年間カリキュラム

項目	科目	内容	日数 (目安)
琉球漆器の知識	本漆の特性理解、調整、乾燥	本漆の各種（生漆、黒漆、朱漆等）の取り扱い（調整、乾燥、保管）に関する知識を習得する。	30
	塗り手工具、治具	漆刷毛、塗師刀、木へらなど手工具の手入れ、各種の手工具の使用について習得する。	
	漆塗り（髹漆）、琉球漆器加飾	漆器の基本である漆塗り（きゅうしつ）、その上に施す堆錦（ついきん）、沈金（ちんきん）、螺鈿（らでん）技法を習得する。	
	製品計画、デザイン	スケッチ、工程表など、漆芸製品の制作に要する知識を習得する。	
【課題制作】 漆芸技術	【丸物】 木椀、盆などの円形器の製作。手回し、回転ろくろ等の道具を使い、下地つけ、漆塗り、研ぎの工程を行う。	木地調整 下地（木固めなど） 下地（布着せなど） 下塗り、中塗り、研ぎ 上塗り（塗りたて、呂色仕上げなど） 作品に応じて琉球漆器加飾	145
	【角物】 文箱、重箱、多角皿など組物の製作。平面および入隅の下地つけ、漆塗り、研ぎに要する技術修得を行う。	木地調整 下地（木固め、刻芋など） 下地（さび付け、布着せなど） 下塗り、中塗り、研ぎ 上塗り（塗りたて、呂色仕上げなど） 琉球漆器加飾（堆錦、沈金、螺鈿）	
	【乾漆】 麻布や和紙などを使い、自由な形状の漆器を制作する乾漆、	原型づくり（石膏） 積層（麻布、麦漆、のり漆） 脱型、仕上げ	
	【手板、壁面】 首里城の壁面に使用する桐油による広面積の技術修得を行う。	素地調整～下地 下塗り～上塗り 加飾（漆絵、箔絵など）	
	【その他】 花器、文具、アクセサリーなど、オリジナル作品を考え、制作を行う。	アイディア出し、デザイン 素地調整～下地 下塗り～上塗り 加飾（堆錦、沈金、螺鈿、 漆絵、箔絵など）	
多様な知識	座学	工芸概論、工芸とデザイン、伝統文様、マーケット、機械取扱・安全	30
	外部講師講習	堆錦講習、沈金講習、螺鈿講習、スケッチ	
	専門講習	琉球、琉球漆器の歴史、概況 工芸材料、製品評価、企画・表現	
	現地実習	原材料調査、文化施設など訪問	
	工房訪問、催事視察	琉球漆器工房	
	交流	異分野工芸、レクリエーション	
	展示企画	画像撮影、ディスプレイ、説明 中間報告会、成果展ほか	
	入所式・修了式など		
現地実習（工房訪問）		日数 224	1